

会 議 録

会議の名称	令和2年度 行田市観光委員会
開催日時	令和2年10月15日(木) 開会：10時00分 閉会：11時25分
開催場所	行田市役所3階 305会議室
出席者(委員)氏名	小林友明委員長、福島智雄委員、新井啓介委員、栗原三郎委員、小池利昌委員、岡田時子委員、寺田浩市委員、鈴木信良委員
欠席者(委員)氏名	無し
事務局	商工観光課：森原秀敏課長、近藤隆洋観光戦略推進幹、風間正博主幹、半田大介主査、西村克己主事
会議内容	<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱状の交付</p> <p>3 あいさつ</p> <p>4 自己紹介</p> <p>5 委員長選任</p> <p>6 議 題</p> <p>(1) 令和元年度 事業報告について</p> <p>(2) 令和2年度 上半期事業報告及び下半期事業計画について</p> <p>(3) その他</p> <p>5 閉 会</p>
会議資料	(資料名・概要等) 令和2年度 行田市観光委員会次第ほか
その他必要事項	傍聴人2名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局 森原課長 各委員 事務局	1 開 会 2 委嘱状の交付 3 あいさつ 4 自己紹介 5 委員長選任
事務局案として、小林委員を推薦するが、異議はないか。 異議なし 小林委員長	事務局案として、小林委員を推薦するが、異議はないか。 異議なし 委員長を務めさせていただく。 また、委員長代理として新井委員を指名する。
事務局	6 議 題 これより議題に入るが、議事の進行は小林委員長にお願いする。
小林委員長	（１）令和元年度 事業報告について、事務局へ説明を求める。
事務局	令和元年度の事業については４月１４日に行田春まつり、５月４日にさきたま火祭り、７月７日に行田蓮まつり、７月２８日及び２９日に行田浮き城まつり、８月１６日にとうろう流し納涼大会、１０月下旬から１１月中旬に行田市菊花展、１２月６日に行田西の市を開催した。 上記のうち、入込客数が最も多かったものが、さきたま火祭りの９万人であった。 次に、年間事業以外に大きく分けて３つの事業報告である。 １つ目が行田版 DM0 形成・確立事業になるが、観光動向調査等を実施のうえ、DM0 のビジョン、骨格を策定するとともに DM0 への理解を深めるため説明会を観光協会理事向けに２回、市民や事業者

	<p>向けに3回の計5回実施した。</p> <p>2つ目にコンテンツ開発・強化事業として、次の事業を行った。その中の主なものとして、1つ目に体験・交流型コンテンツ開発強化事業として、市内滞在時間の延伸を目的に着物の着付け体験事業など3事業に対して補助を実施した。2つ目に、通年型イベント開発強化事業として、中心市街地のにぎわい醸成を目的に「ぬまのほitoriであいましょう」など3事業に対して補助を実施した。その他、忍城おもてなし甲冑隊強化事業、観光ガイド強化事業、観光物産館整備事業を実施した。</p> <p>3つ目は情報発信・プロモーション強化事業として、2事業を行った。</p> <p>1つ目が海外向け情報発信強化事業として、グルメパンフレット「行田たびたびグルメ」や訪日外国人向け体験プログラム紹介パンフレットの発行を行った。また、日本遺産を中心とした行田の魅力発信のためYouTubeに動画配信を行った。2事業目に外国人観光客誘客事業として、ラグビーワールドカップ2019日本大会の期間中に古代蓮会館催事場内において「メイキング田んぼアート」の映像を流すとともに、熊谷会場のおもてなしエリアにて試合観戦に訪れる方々に観光PRを実施した。</p> <p>次に主要な統計データについてであるが、全体の特徴としては、古代蓮の開花期については多くの観光客が当市を訪れていることがわかる。</p> <p>以上で令和元年度事業の報告とする。</p> <p>ただいま事務局から説明があった。質疑等があれば発言願いたい。</p> <p>まず、事業報告ということで地方創生推進交付金を活用した各事業がいくらかかったのか教えてほしい。</p>
小林委員長	
福島委員	

<p>事務局</p>	<p>また、各事業の金額の内訳についても併せて教えてほしい。</p> <p>地方創生推進交付金の総額は 54,758 千円である。</p> <p>当事業は国の地方創生推進交付金を活用した事業であり、この 2 分の 1 が国から交付される。</p> <p>当事業は大きく三つの柱に分かれており、まず 1 つ目の柱として行田版 DMO 形成・確立事業の金額が 6,411,387 円。続いて、2 つ目の柱の観光コンテンツの開発・強化事業の金額は 36,929,281 円。3 本目の柱の情報発信・プロモーション強化事業の金額は 11,416,863 円である。</p> <p>コンテンツ開発・強化事業の内訳として体験・交流型コンテンツ開発強化費が 1,471,640 円。通年型イベント開発・強化費が 595,834 円。忍城おもてなし甲冑隊強化事業費が 19,294,953 円。観光ガイド事業費が 2,266,120 円。観光物産館整備事業費が 242,880 円である。</p>
<p>新井委員</p>	<p>年間事業の中に、行田商工祭・忍城時代まつりが無いのはなぜか。</p>
<p>事務局</p>	<p>観光協会が主催しているイベント、観光協会から協賛金を出している催事を掲載している。忍城・時代まつりは市の重要な祭りと認識しているため、来年は資料に加え、説明をさせていただく。</p>
<p>福島議員</p>	<p>情報発信・プロモーション強化事業で海外向け情報発信・強化事業と外国人観光客誘客事業あるが、さらに詳しく金額を教えてください。</p> <p>また、今後はインバウンドではなくマイクロツーリズムに力を入れていくのか。</p>

事務局	<p>海外向け情報発信・強化事業は総額で 9,276,302 円。事業内容はパンフレット類の作成、海外向けのフリーペーパーへの掲載をした。また、外国人観光客誘客事業は 2,140,561 円。</p> <p>今後のインバウンドについてだが、市単独ではなく外国人観光客の多い秩父、長瀨、川越、埼玉県と連携をとり外国人の誘客を図っていく予定である。</p> <p>なお、今後の観光戦略については、DMO を中心に検討していく。</p>
栗原委員	<p>統計資料の観光情報館ぶらっと♪ぎょうだの3年間の売上金額、ホームページのアクセス数ともに減少しているが、どのように分析をしているのか。</p>
事務局	<p>平成 29 年度は観光情報館ぶらっと♪ぎょうだの売上、観光案内所利用者数、古代蓮の里利用、観光協会ホームページのアクセス数の全てがとびぬけており、これは行田を舞台にした TV ドラマ「陸王」の放映が大きな要因となっている。</p> <p>それ以降、減少傾向にあるが、現在取り組んでいるものとしては観光協会ホームページのリニューアル、若者に人気のインスタグラム等の SNS を使った情報発信に努めている。</p> <p>また、訪れた観光客に対し、アンケート等も実施しており、今後はこの情報をもとに観光客誘致に結び付けていく。</p>
栗原委員	<p>多くの観光客に来てもらうには新商品の開発、ホームページの更新、最近では八幡通りにも多くの観光客が訪れているので、今後も継続できるようお願いしたい。</p>
小林委員長	<p>(2) 令和 2 年度 上半期事業報告及び下半期の事業計画について、事務局へ説明を求める。</p>

事務局	<p>今年度の上半期の事業報告だが、開催を予定していた行田春まつり、さきたま火祭り、行田蓮まつり、行田浮き城まつり、とうろう流し納涼大会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべて中止となった。</p> <p>年間事業の他に現在進行中のものも含めて、3事業を行った。</p> <p>1つ目に、行田版 DMO 形成・確立事業として、DMO 設立に向けた準備委員会の実施や令和 3 年度からの新たな法人の本格稼働に向けて、専門的な人材の採用をした。</p> <p>2つ目に、コンテンツ開発・強化事業として市内滞在時間の延伸を目的に 4 事業に対して補助を行っている。</p> <p>3つ目に、情報発信・プロモーション強化事業として、観光パンフレット、魅力いっぱい行田の多言語版の作成をした。また、オンラインショッピング「行田応援ショッピングサイト」を開設した。</p> <p>次に、令和 2 年度の下半期の事業計画である。</p> <p>まず、10 月下旬から 11 月中旬まで行田市菊花展。忍城時代祭りは 11 月に予定していたが中止となった。12 月 6 日の行田酉の市は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、神事のみ行う予定である。</p> <p>年間事業以外に 3 事業を予定している</p> <p>1つ目が行田版 DMO の形成・確立事業として、新法人の設立と、現観光協会の解散を予定している。2つ目にコンテンツ開発・強化事業として、行田花手水 week の定期開催を行田八幡神社、八幡通り、前玉神社にて今月から開催している。3つ目が情報発信・プロモーション強化事業として、行田市観光 NAVI に日本遺産ページの追加を予定している。</p> <p>以上で令和 2 年度上半期事業報告及び下半期事業計画の説明とする。</p>
-----	--

小林委員長	<p>ただいま事務局から説明があった。質疑等があれば発言願いたい。</p>
福島委員	<p>上半期の方から質問させていただく。</p> <p>1点目がその他の事業の行田版 DMO の形成・確立事業で、令和3年度からの新たな方針の本格化に向けて専門人材の採用とあるが、現在の進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>2点目がインバウンドを含む観光戦略の立案に役立てるため各種観光データの収集実施とあるが、今般のコロナ禍の状況を考慮するとインバウンドを目指すのは厳しいと思う。現状を考えるとマイクロツーリズムに方針転換する必要があると思うが、意見を伺いたい。</p>
事務局	<p>1点目の専門人材の採用の関係だが、スケジュールとしては7月いっぱいまで募集をかけて、8月に1次選考、2次選考を行い、既に具体的な結果は出ている。こちらは正式採用予定の12月1日をもって公表予定である。雇用契約等が済んでいないため、ご了承いただきたい。</p> <p>2点目の、各種観光データの収集実施に関しては、こちらはインバウンドのみの観光データの収集ではなく、インバウンドも含んでという意味である。事務局でも当面、インバウンドでの誘客は厳しいというのは理解している。今後インバウンドでの誘客が見込めるようになった時のための観光プロモーションに向けてデータを取り始めたところである。</p>
福島委員	<p>追加で質問である。</p> <p>1つ目がコンテンツ開発・強化事業の中の行田八幡神社、埼玉神社の「癒しの花手水空間体験」は具体的に花手水をやるために補助金を出しているという認識でよいか。また、補助金額はいくら</p>

<p>事務局</p>	<p>なのか。</p> <p>この取り組みは、当初は新型コロナウイルス感染拡大前ということもありバスツアーを予定していたが、そのツアーでの目玉となるコンテンツを考える中で旅行業者から助言いただき、花手水を絡めた限定の御朱印を発行したのがきっかけである</p> <p>花手水は一つの体験型コンテンツとして認識しており、一部補助をしている。金額については現在資料がないため答えられない。</p> <p>補助の具体的な内容だが、手を挙げた店舗に対する水鉢を貸与している。これは統一性を持たせるために、信楽焼の鉢を使っている。なぜ信楽焼かというと、もともと花手水を始めたのが八幡神社でそれに合わせた。最初はきっかけ作りで一部団体に補助をしたが、声掛け等を行った結果、現在では八幡町通りの各店舗や住民、自らが行うように変わってきた。行政主体ではなく住民、自らおもてなしをするという意味で良い流れになっている。</p>
<p>福島委員</p>	<p>続いて下半期から質問させていただく。</p> <p>まず、行田版 DMO 形成・確立事業で DMO の代表は公募で決めるのか。次にコンテンツ開発・強化学業だが新たなグルメ土産物開発・強化学業とは具体的には何を作るのか教えてほしい。もう一点が商工センター1階の改修工事だが予算を教えてほしい。以上3点をご教示いただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず DMO の代表だが法人の規定に沿って選任される。市内民間各業界から理事が選任され、その理事の中から代表を選任していく予定である。</p> <p>次に新たなグルメ・土産物開発・強化学業だがこちらは市から商工会議所に補助金を出し実施している。内容としては市内事業者、回遊の際に魅力的なコンテンツの開発やインスタグラム等</p>

	<p>写真映えする商品の制作を目的としている。</p> <p>最後に商工センター1階の改修についてだが、今年度は市費で約29,000千円工事費として計上している。工事内容については1階のぶらっと♪ぎょうだの視認性が悪いということで外階段の改修を行うのと現在ぶらっと♪ぎょうだの倉庫を今後DMOの事務所として使用することを予定しておりその改修工事をおこなうものである。</p>
<p>福島委員</p>	<p>追加で質問させていただく。</p> <p>1点目にDMOの代表は市長はやらないという認識で良いのか。</p> <p>2点目が市内でコスプレイベント等が実施されているが、そういったイベントとのコラボはないのか。</p> <p>3点目がぶらっと♪ぎょうだの改修工事についてだが、立地条件が悪いので古代蓮会館やバスターミナル観光案内所などで販売等を行った方がよいのではないのか。</p>
	<p>事務局</p>
	<p>1点目のDMOの代表については、理事の中から選任された方が代表理事となり、最高責任者となる。</p> <p>2点目のコスプレイベントとのコラボについてだが、こちらは令和元年度以前から積極的に取り組んでおり、こういったイベントは行政が主体的にやると参加に影響が出てしまう傾向にある。そのため何か要望があれば可能な範囲で対応するような姿勢で今後コラボしていきたい。</p> <p>3点目の商工センターの改修についてだが、数々の場所の検討は行ったが、他の施設だと立地条件が悪く、適当な広さがなかった。また、観光物産館については市街地にあり、当市を訪れた方からはなじみのある場所となっていることから現在のぶらっと♪ぎょうだの方がより効果的な運用を図れると思案したため決定した。</p>

小池委員	<p>商工センターの改修の件だが、忍城と市役所の間の売地を市で買収して運営を行ってほしい。福島委員がおっしゃられたとおりぶらっと♪ぎょうだは視認性が悪く、今後売上があがるとは思えない。改修費用等も考慮して、検討していただきたい。</p>
事務局	<p>こちらは市内を回遊する上で、課題の1つだと認識している。ただ、建物となると所有者との協議や買収という問題も生じてくるため、課題として捉える中で長期的な取り組みとして考える必要がある。</p> <p>今後活用できるのであれば空き店舗を活用した政策を市が打ち出し、観光に結びつけられたらと考えている。</p>
小池委員	<p>今後、予算をつけて行田の観光の未来を見据えてその売地に商店等を建てて、活用してほしい。</p>
鈴木委員	<p>今後の観光についてだが、観光施設や商店とかではなく市民全員で盛り上げていかななくてはならない。ないものねだりをするのではなく、大きなスケールで市民が知恵を出し合ってやるのと同時に市全体でやることで市のイメージアップにつながり、定住促進にもつなげることが出来る。</p> <p>また、確認だが DMO の代表は民間の方が就任するという認識で大丈夫か。</p>
事務局	<p>DMO の代表だが民間の方が就任するという考えで間違いない。DMO 自体、行政とは離れた団体ということで認識いただきたい。</p> <p>たくさん意見をいただいたが、行田市は観光客への市民からのおもてなしは他の観光地に比べると劣っている。市民の観光客へのおもてなしは一朝一夕でできるようにならないが、八幡通りの花手水を皮切りに観光客と地域住民の関わりの意識は変わって</p>

鈴木委員	<p>きていると感じる。</p> <p>また、市民へのおもてなしの意識の醸成については観光行政だけでは限界があり、時間がかかってしまうが他分野と絡めて市民大学や観光ボランティアの方が先頭に立ち活動していく中で進めていければと考えている。</p> <p>観光マップにはサイクリングマップもあるので、秩父鉄道と連携をとりサイクルトレイン等も考えてほしい。</p> <p>また、今後の観光については「のぼうの城」や「陸王」のように単発で盛り上げるのではなく、継続的に盛り上げていく必要がある。市民全員で取り組まなくてはいけないので市民の意見も反映させるべきである。</p>
事務局	<p>サイクルトレインについては秩父鉄道の方で乗降者数や安全性等を考慮し寄居から羽生方面ではできないが、今後可能な限り主要路線と協議し連携をしていく。</p> <p>また「のぼうの城」や「陸王」の盛り上がりは収束したが無駄ではなく、各種コンテンツの積み重ねができた。また、市民からの意見をもとにそういった各種コンテンツのブラッシュアップをしていくべきだと考えている。</p>
寺田委員	<p>シルバー人材センターで働いているが、コロナ禍の影響により仕事がなく、寂しく感じる。</p> <p>ガイドの申し込みについてだが、市のホームページを見ると「個人旅行」「団体旅行」に分かれており、個人旅行については観光ボランティアガイド。団体旅行についてはシルバー人材センターの申し込み先にジャンプするようになっている。シルバー人材センターでも個人旅行については取り扱っているので、ホームページの修正をお願いしたい。</p>

事務局	<p>振り分けの理由についてだが、団体旅行はツアー会社を通した旅行が主な対象となっており、ガイド料の有無を明記し掲載したときにガイド依頼の配分などが予測できないため、現在はガイド依頼が平等になるようにこのような形で掲載をしている。</p> <p>今後は双方の代表と話し合いをし、検討していく。</p>
岡田委員	<p>観光ボランティアガイドも3月からほとんど依頼がない状況である。</p> <p>毎日さきたま古墳の散歩をしていて、毎週金曜日の駐車台数を数えてみた。平均台数は約80台あり、熊谷ナンバーがほとんどで、その他練馬ナンバー、茨城ナンバー、栃木ナンバー、八王子ナンバーなど遠方より来ている方も見受けられた。散歩をしているときには観光客に声をかけて観光案内をしている。</p>
事務局	<p>観光案内するときはパンフレットや観光案内看板だけでなく、先ほど鈴木委員もおっしゃられたことがまさに岡田委員が行っていることだと思う。今後についても引き続きお願いできればと思う。</p>
小林委員長	<p>(3) その他について、報告事項等があれば発言願いたい。</p>
事務局	<p>今後この委員会の場にとどまらず、気づいたことがあったら商工観光課にお越しいただきご意見を伺えればと思う。</p> <p>5 閉 会</p>